

平成 17 年度 コンクリート委員会 第 6 回常任委員会 議事録

日時：平成 18 年 3 月 10 日（金）13:10～17:00

場所：土木学会 講堂（2F）

出席者：丸山委員長，田辺顧問，石橋，呉，上田，魚本，宇治，梅原，大津，金津，河野，小島，坂井，堺，佐藤勉，佐藤良一，鈴木，十河，武若，堤，手塚，富田，二羽，信田，橋本，福手，前川，松岡，宮川，睦好，渡辺の各委員，横田幹事長，下村・中村・服部・三島の各幹事，松沼事務局職員
配布資料：

- 6-0 平成 17 年度コンクリート委員会第 6 回常任委員会 議事次第
- 6-1-1 PC 箱桁定着部破壊解析委員会報告（その 2）
- 6-1-2 コンクリート茶話館 第 23 話 コンクリート標準示方書
- 6-2 平成 17 年度コンクリート委員会第 5 回常任委員会議事録（案）
- 6-3-1 硬化したコンクリートからの微量成分溶出試験方法（案）（JSCE-G575-2005）
- 6-3-2 常任委員会からの意見およびその対応表：「硬化したコンクリートからの微量成分溶出試験方法（案）」（JSCE-G575-2005）
- 6-4-1 高炉スラグ微粉末の混入率および置換率試験方法（案）（JSCE-D 501-2006）
- 6-4-2 高炉スラグ微粉末の混入率および置換率試験方法（案）（JSCE-D 501-1999）
- 6-4-3 高炉スラグ微粉末の混入率および置換率試験方法（案）（JSCE-D 501-2006）への意見に対する回答書
- 6-5-1 JSCE-VIFCEA ジョイントセミナーおよびワークショップのフォローアップ実施に関わる費用援助のお願い
- 6-5-2 JSCE-VIFCEA ジョイントセミナーおよびワークショップのフォローアップ実施に関わる費用援助要請に関する補足説明
- 6-6 第 3 種委員会提案書「コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会」
- 6-7-1 コンクリート標準示方書改訂小委員会委員構成
- 6-7-2 コンクリート標準示方書改訂小委員会 設計部会 委員構成
- 6-7-3 鉄筋継手指針改訂小委員会 委員構成
- 6-8 平成 17 年度コンクリート委員会一般会計・特別会計会計状況（3/9 現在）
- 6-9 Memorandum of Understanding between Concrete Committee, JSCE and Concrete Committee, KSCE
- 6-10 平成 18 年度「重点研究課題（研究助成金）」申請書
- 6-11 規格・規準類（含む JIS）の英訳化
- 6-12 コンクリート教育教材作成小委員会報告
- 6-13-1 耐震設計研究小委員会（329 委員会）第 2 期名簿
- 6-13-2 材料劣化が生じたコンクリート構造物の構造性能研究小委員会（331 委員）名簿
- 6-14-1 「コンクリートの表面含浸技術に関するシンポジウム」開催の案内
- 6-14-2 「硬化コンクリートのミクロの世界を拓く新しい土木学会規準に関する講習会」開催の案内
- 6-14-3 「PC 構造物の現状の問題点とその対策」に関するシンポジウム開催案内
- 6-14-4 2nd ACF International Conference の案内

議事：

1．委員長挨拶

丸山委員長より委員会開催にあたり挨拶が行われた。

2. 田辺顧問の特別講話

田辺顧問から、資料 6-1-1、6-1-2、スライドを用いて、「示方書雑感」というテーマで、過去の示方書大改訂の際の状況、今後の示方書の大改訂への囑望、マスコンクリートの温度応力解析を示方書に導入した際の状況、国際基準の審議の厳しさ、信頼性設計などについて講話がなされた。

3．前回議事録（案）の確認

資料 6-2 の平成 17 年度第 5 回常任委員会議事録（案）が中村幹事より説明された。

審議事項(5)の「一年間」「次の改訂まで」、報告事項(6)の1)の「1月8日」→「1月20日」と訂正し、報告事項(1)の最後に「また、吉田賞委員会に、場合によっては旅費の申請を行う予定であることが報告された。」の一文を付け加える。他は承認された。

試験方法は、規準編の次期改訂までは（案）をつけておき、規準編に収録するときに（案）をはずすことを、英文は最初から(Draft)を付けないことを確認した。

4．審議事項

(1) 硬化したコンクリートからの微量成分溶出試験方法（案）(資料 6-3-1、6-3-2)(坂井委員)

坂井委員より、資料 6-3-1、6-3-2 に基づき、硬化したコンクリートからの微量成分溶出試験方法(案)の修正案について説明がなされた。審議の結果、これを承認した。

(2) 高炉スラグ微粉末の混入量および置換率試験方法の一部修正(資料 6-4-1、6-4-2、6-4-3)(橋本委員)

橋本委員より、資料 6-4-1、6-4-2、6-4-3 に基づき、高炉スラグ微粉末の混入量および置換率試験方法の一部修正について説明がなされた。審議の結果、これを承認した。改訂がなされたことを土木学会の HP で告知することとなった。

(3) 平成 18 年度全国大会研究討論会テーマ(横田幹事長)

横田幹事長より、平成 18 年度全国大会におけるコンクリート委員会主催の研究討論会テーマについて、幹事団で話し合った結果、以下のテーマ案が挙げられていることが報告された。

- ・性能照査結果の認証・保証システム
- ・次期示方書について

魚本委員より、建築における耐震強度偽装事件を受けて、「土木構造物は何か起こったときに本当に安全か？」ということを考えるのはどうかという提案があった。

この他に討論テーマの案がある場合は、3月17日までに横田幹事長宛にメールで提案することとなった。最終的なテーマの決定は幹事団一任されることとなった。

(4) JSCE・VIFCEA ジョイントセミナー及びワークショップのフォローアップ実施に関わる吉田賞選考委員会への費用援助要請（資料 6-5-1、6-5-2）（堺委員）

堺委員（国際関連小委員会委員長）より、資料 6-5-1、6-5-2 に基づき、ベトナムから 3 人の招聘に関わる費用援助を吉田賞委員会に要請したことが報告された。吉田賞委員会から、要請にあたってのコンクリート委員会としてのスタンスの説明が求められたことが報告された。検討の結果、コンクリート委員会として、ICCMC、ACF とのすみわけを考えつつ海外戦略を展開してゆくこと、吉田賞委員会に毎回、援助を申請するわけではないこと、ベトナムは海外展開の端緒として行う位置づけにあることを確認した。

(5) 3 種小委員会の新設（資料 6-6）（鈴木委員）

鈴木委員より、資料 6-6 を用いて、「コンクリート構造物の信頼性設計法に関する研究小委員会」設置の提案がなされた。以下の意見が出された。

- ・ 現行示方書には荷重について記載されていないので困ることがある。
- ・ 過積載の問題を設計体系の中で取り扱うのか。
- ・ 設計の基本的な考え方として、構造物が壊れないことを前提に作るか、破壊が確率的に起こることを前提にするかという違いがある。
- ・ 耐久性のデータベースとの関連も考えてはどうか。

336 委員会として設置が認められた。なお、英文名を幹事に連絡してもらうこととした。

(6) 1 種・2 種小委員会委員追加・変更（資料 6-7-1、6-7-2、6-7-3）（丸山委員長）

丸山委員長より、資料 6-7-1、6-7-2、6-7-3 を用いて、1 種 2 種委員会の委員の追加・変更が提案された。審議の結果これを承認した。

(7) その他

前川委員より、垂井高架橋で見られた、コンクリートに異常に大きな収縮を発生させる骨材について、委員会を設置して科学的に調査してはどうかとの提案があった。どのような形態で委員会を設置するかは幹事団で検討することとなった。

5 . 報告事項

(1) 平成 17 年度会計報告と最終見通し（資料 6-8）（横田幹事長）

横田幹事長より、資料 6-8 に基づき、3 月 9 日現在の平成 17 年度会計状況が説明され、了承された。丸山委員長より、垂井高架橋損傷対策特別委員会委託継続の申し出があったらコンクリート委員会として受託したい旨であるとの報告があった。

(2) KSCE コンクリート委員会との覚書締結（資料 6-9）（横田幹事長）

横田幹事長より、資料 6-9 を用いて、韓国土木学会コンクリート委員会との間で協定を締結したことが報告された。これに基づき、9 月の土木学会全国大会でジョイントセミナーを開催する予定で、学会国際委員会と開催の方法を検討中である。その結果に基づいて、セミナー準備等の協力を国際関連小委員会にお願いしたいとの依頼があった。

(3) 平成 18 年度重点研究課題（競争的資金）への応募（資料 6-10）（横田幹事長）

横田幹事長より、コンクリート委員会より平成 18 年度重点研究課題に資料 6-10 の課題に応募したことが報告された。

(4) 規格・規準類の英訳化（資料 6-11）（服部幹事）

服部幹事より、資料 6-11 に基づき、規格・規準類の英訳化に応募したことが報告された。なお、基準編の英訳化について、規準関連小委員会で議論してもらうこととした。

(5) 吹付けコンクリート指針（案）の英文出版について（橋本委員）

橋本委員より、吹付けコンクリート指針（案）を英訳化して出版することが報告された。

魚本委員より、海外の大学を訪問した際にこのような英訳指針・規準を図書館に 1 冊寄贈し、購入を促進するのがよいとの提案があった。各委員は、出来るだけ英訳指針・規準を宣伝してもらうとともに、図書館等に寄贈する場合は、申し出があれば英訳指針・規準を無料で用意することとした。

中村幹事より、このような情報を海外発信するのに現在コンクリート委員会の Newsletter があること、送付先のアドレスの追加は随時受け付けているので、中村幹事または松沼事務局員に連絡してほしいとの発言があった。

(6) JST-Web 教材作成の成果報告（資料 6-12）（福手委員）

福手委員（コンクリート教育教材作成小委員会委員長）より、プロジェクターを用いて、最近完成した JST-Web 教材の紹介がなされた。

(7) 新規受託委員会の予定について（丸山委員長）

丸山委員長より、電力関係からフライアッシュの有効利用に関する研究の委託がある予定であることが報告された。

(8) 3 種委員会委員の追加・交代（資料 6-13-1、6-13-2）（中村幹事）

中村幹事より、資料 6-13-1、6-13-2 に基づき、329 委員会、331 委員会の委員の追加が報告された。

(9) 平成 18 年度常任委員会日程

中村幹事より資料 6-0 に基づき、平成 18 年度のコンクリート常任委員会の開催予定が報告された。

第 1 回 5 月 12 日（金）13:00～17:00 東京 特別講話：小柳顧問（予定）

第 2 回 7 月 10 日（月）新潟 特別講話：長瀧顧問（予定）

第 3 回 9 月 19 日（火）京都 特別講話：なし

第 4 回 10 月 12 日（木）東京 特別講話：岡村顧問あるいは田澤顧問（予定）

第 5 回 12 月 8 日（金）東京 特別講話：なし

第 6 回 3 月 9 日（金）東京 特別講話：なし

(10) 講習会等開催報告

中村幹事より、資料 6-14-1 に基づき、「コンクリートの表面含浸技術に関するシンポジウム」(4月20日、土木学会)の案内がなされた。

橋本委員より、資料 6-14-2 に基づき、「硬化コンクリートのミクロの世界を拓く新しい土木学会規準に関する講習会」(4月21日、土木学会)の案内がなされた。

中村幹事より、資料 6-14-3 に基づき、「PC 構造物の現状の問題点とその対策」に関するシンポジウム(5月16日、土木学会)の案内がなされた。

魚本委員より、資料 6-14-4 に基づき、「2nd ACF International Conference」(11月20,21日、インドネシアのバリ)の案内がなされた。また、ACF への入会の呼びかけもなされた。

(11) その他

橋本委員より、支部主催の吹付けコンクリートの講習会を4月21日仙台、5月23日名古屋にて開催する予定であることが紹介された。

6 . その他

次回コンクリート常任委員会は5月12日(金)に開催する。小柳顧問からの特別講話を行う予定である。開催時間は、調整の上後日連絡する。

以上